

I 港区立赤坂子ども中高生プラザ・学童クラブ概要

1. 基本理念及び運営方針

(1) 基本理念

赤坂子ども中高生プラザ（以下、「プラザ」という。）は、児童を権利行使の主体として捉え、港区立子ども中高生プラザ条例（以下、「条例」という。）に基づき、下記の基本理念を掲げ、子どもの権利を擁護し、健やかな成長を願って事業の運営を行ってまいります。

- ① のびのび楽しく過ごす心を持ち、ありのままの自分に力があることを自覚し、自主的に活動を進められるように支援します。
- ② じっくりと考える力が育つように働きかけ、仲間とともに協力し、自治を作っていく力を育てます。
- ③ 一人ひとりの違いを認め合いながら、人間として温かな心を育むよう支援します。
- ④ 生き生きと健康な身体を作ることを働きかけ、児童の体力増進のための活動を進めます。
- ⑤ 中高生が心地よく過ごせる居場所となるよう環境を整え、支援するとともに、自主的に文化、芸術、スポーツ活動の向上を図れるよう、活動を進めます。
- ⑥ 地域の乳幼児や小学生と子育て中の保護者が、主体的に、生き生きと安心して過ごせる場を作ります。
- ⑦ 学童クラブの子どもたちが生活の場として安心して過ごし、個々の力を伸ばせるよう働きかけます。
- ⑧ 地域との連携を深め、協力、交流を行うための組織を作り、活動を進めていきます。
- ⑨ 児童に関わる情報収集に努め、発信、提供の場になれるようにします。

(2) 全体の運営方針

- ① 来館者一人ひとりのベスト・インタレスト（最善の利益）を出発点とした運営を行います。
- ② 地域をステージとした多様な活動に参加できるよう、拠点施設としての運営を行います。
- ③ 児童が友情を育み、仲間と集える「居場所」を共に作っていく運営を行います。
- ④ 障害のあるなしに関わらず、だれもが自分らしい選択で活動できるノーマライゼーションの考えに基づく運営を行います。
- ⑤ すべての児童・保護者等が性別にとらわれず、自分らしく豊かに生きることのできるよう男女平等参画の視点から運営を行います。
- ⑥ 子育て中の家庭を支援し、親も成長できるよう、共生の視点から運営を行います。
- ⑦ 高齢者施設との交流を深め、世代間交流を促進する運営を行います。
- ⑧ ボランティアの育成に努め、社会参加への機会となる運営を行います。
- ⑨ 利用者の個人情報保護の適正化に取り組むとともに、職員の倫理綱領に基づく行動規範を遵守し、サービスの質の充実を図ります。
- ⑩ 地域に信頼され、親しまれる施設、より一層賑わいのある施設を目指します。
- ⑪ 令和3年度は乳幼児親子を重点対象とし、保護者の声を十分聴いて、企画に反映させます。

(3) 具体的な方針

条例に基づき、児童が心身ともに健やかに成長し、豊かな情操を育むようにするため、大型児童センターとしての役割を果たしつつ、「地域とともに育つ」という視点から、開かれた施設づくりを進めます。

この観点により、乳幼児から18歳未満の児童の心のよりどころとなり、かつ“居場所”として、児童の体力増進、文化・芸術活動の拠点になるよう、企画運営を行っていきます。

- ① 地域とともに育ち、信頼される施設を目指し、開かれた施設づくりを推進します。
 - ・ 児童が安全に、安心して過ごせる施設運営を行います。
 - ・ 児童の遊びや体力増進、文化・芸術の拠点となるような企画と運営を目指します。
 - ・ 児童を優先しつつ、地域のニーズに柔軟に応えられるよう、開かれた施設運営を行います。
 - ・ 児童に関する関係機関、とりわけ近隣の機関等と連携し、有機的なネットワークを構築します。
 - ・ 学童クラブにおいては、児童の健全育成に十分配慮し、更に充実した運営を目指します。
 - ・ 港区の「子どもの未来応援施策」実現に向け、中高生の居場所機能を充実させるよう取り組みます。
- ② いろいろなニーズを持った児童が参加しやすいように、常に利用者の状況を把握し、自主的な活動を支援し、ともに行動しながら、交流する喜びや満足を感じられるような活動内容を提供します。
 - ・ 職員の専門性を高め、質の高いサービスを提供します。
 - ・ 中高生に対しては、地域等の協力も得ながら、本物の文化、芸術、スポーツなどの素晴らしさを伝えられるような活動を展開していきます。
 - ・ 児童が自主的に参加できる場所として、児童の欲求を敏感に捉えながら、自主的な活動を進められるよう、配慮をしていきます。
 - ・ 障害児の夏季休業日等の受け入れに、適切に対応し支援します。
- ③ 高齢者施設との交流を大切にします。
 - ・ 併設の高齢者施設を利用される方々と、日常的に自然な交流ができるよう工夫し、世代間交流ができるような活動を企画します。
 - ・ 高齢者施設との交流については、ボランティアや見学を行うとともに、併設の高齢者施設と連携し、児童がより高齢者福祉に興味、関心を持つことができるような機会を設けます。
- ④ 令和3年度は、乳幼児を対象に、「子育て、子育ち、親育て」を念頭に置いた活動の実現を重点目標として掲げ、支援していきます。
- ⑤ 令和2年度から、新たに赤坂子ども中高生プラザ「青山館」の運営も行うこととなったことを踏まえ、赤坂子ども中高生プラザと青山館との連携を密にして、児童・保護者が両館の施設、事業で交流を深めるとともに、職員についても日常的に企画行事や運営面で協力し合い、相乗効果が得られるような運営を目指します。

2. 利用日時

(1) 赤坂子ども中高生プラザ

条例等に基づき、次のとおり行いました。

【時間】午前9時30分から午後8時

(小学生の利用は、ひとりで帰れる時間を考慮し、「午後6時まで」を推奨)

※障害児夏季休業日等支援事業による受入れ拡大 午前8時から

※乳幼児室の利用は、新型コロナウイルス感染症対策のため、①9:30~12:00、②13:30~15:30

③15:45~17:30 の3区分に分け、事前予約および定員制での利用

【曜日】月曜日から日曜日

※ただし、国民の祝日に関する法律に定める休日、年末年始の12月29日から31日及び1月2・3日は休館。なお、12月29、30日については、「年末施設開放」として午前9時30分から午後5時までの間、開館（プラザ全館統一開館時間）

(2) 学童クラブ

港区学童クラブ運営要綱に基づき、利用日及び時間について、次のとおり行いました。

【時間・曜日】月曜日から金曜日 下校時から午後7時

土曜日 午前8時から午後5時

日曜日 休室

学校休業期間中 午前8時から午後7時（但し、土曜日は午後5時）

Ⅱ 運営管理

1. 職員組織体制

2. 職員体制

区分	館長	児童指導員			事務員	合計
		プラザ	学童クラブ	子育て広場		
正規・常勤	1	5	6	3		15
非正規	常勤	1		1		2
	非常勤	3	6	1	3	13
計	1	9	12	5	3	30

3. 職員研修

運営方針を具体化し、一人ひとりの利用者のニーズに対応した専門的サービスを提供するため、日常的に職員の資質向上を図る研修を行いました。

このため、法人の職員研修計画に基づく研修のほか、他の児童施設とも連携しながら教育研修を行うなど、計画的に人材育成を進めてきました。

(1) 施設内研修（分館との連携研修含）

実施一覧

月	日	内容	参加者数
4	1	法人新任研修	2名
10	4	管理職研修	1名
11	19	法人非常勤職員研修	4名
11	11	法人指導職研修	3名
11	12	パネルシアター研修	2名
11	17	発達支援とその保護者への支援	2名

(2) 外部研修

下記の機関・団体が主催する研修に職員を派遣し、職員の経験、知識や技術の程度・段階に応じた研修を受講させることにより資質の向上を図るとともに、資格取得などの支援や他施設の見学などを行いました。

①港区研修

月	日	内容	参加者数
7	12	●実務研修 コロナ禍の児童館プログラム～事例報告会～ 児童施設研修	1名
10	19	●児童館のBCP～災害リスクを知って備える	2名
10	31	◎環境マネジメント研修	1名
1	27	●ここが困った！事例を考える研修	1名
2	4	◇オンラインゲームの安心・安全対策講話	1名

●館長会研修 ◎赤坂地区総合支所管理課研修 ◇子ども家庭支援センター研修

②東京都研修

月	日	内容	参加者数
6	28・29・30・7/1	東京都放課後児童支援員認定資格研修	3名
7	12・13・14・15		
2	7・9・10		
12	7	配偶者暴力と子どもから児童虐待との関係	2名
12	10	「保育施設におけるアレルギー対応に求められること」	1名
12	17	デートDVを理解し、未然に防ぐために ～教育現場での予防啓発	1名
1	19	東京都児童館等職員研修中堅児童厚生員テーマ別研修	1名

4. 防災計画

防災訓練実施報告

月	種類	内容	備考
4	BCP訓練①	・災害備蓄資料の確認と仕分け	委員長選出
5	図上訓練	・避難ルートの試行訓練（座学）	
6	消火訓練	・施設中庭での水消火器による消火訓練	
7	図上訓練	・火災報知器対応訓練	
8	ビデオ研修 消火栓確認	・防災ビデオ（自衛消防活動）	消火散水栓
9	BCP研修訓練 ②	・業務継続計画研修および訓練 ・簡易設置型止水盤の確認	特養・児童のBCP
10	総合・合同訓練	・町会等との地域合同防災訓練 ※コロナ禍のため、資料配布	消防署指導 地域町会合同・資料配布
11	消火・避難訓練	・大震災想定の日勤者による避難誘導訓練 ・福祉避難所開設訓練	簡易ベッド組立・ パーソナルスペース設置
12	消火訓練	・消火器訓練による消火訓練 ・火災報知器訓練	水消火器
1	ビデオ訓練 消火訓練	・防災ビデオ（消火器・消火散水栓使用） ・スプリンクラー作動時マニュアルの確認	火災時想定
2	消火訓練	・火災報知器発報対応マニュアル確認 ・スプリンクラー作動時対応マニュアルの確認	マニュアル 確認
3	図上訓練	・火災時避難誘導ルートの検討 ・防火扉・消火散水栓・消火器の位置 ・現在の避難誘導ルートの再検討	避難誘導ルート
<p>＜その他実施事項＞</p> <p>① 日常における操作訓練（スプリンクラー、非常通報装置、火災報知機、初期消火体制等）</p> <p>② 上級救急救命講習への参加</p> <p>③ 災害時防災協定の継続</p> <p>④ 港区実施の防災通信訓練の実施</p>			

Ⅲ 港区立赤坂子ども中高生プラザ運営事業

1. 令和3年度 運営方針・指導の重点（学童クラブ共通）

（1）年度運営方針

令和3年度は、「乳幼児親子世代」を重点対象とし、また「中高生の居場所づくり」も念頭において、多様な活動の実現・充実、環境づくり・仕組みづくりに重点をおいた運営を行いました。

（2）指導の重点

- ① 赤坂子ども中高生プラザに「また遊びに来たい！」と思われるような企画運営を行いました。
- ② 赤坂子ども中高生プラザが赤坂地区の子育て支援の拠点として、なんで～もにあれば安心して過ごすことができる、「心のほっとステーション」となるよう指導・支援を行いました。
- ③ 各部屋の見守りを強化し、職員ローテーションによる気づきを報告しあう体制を整えました。

（3）主な取組

乳幼児・保護者意見広聴の場として、今年度新たにキッズ・なんで～も委員会を実施しました。乳幼児保護者からの企画リクエスト等の調査行い、それらのリクエストに応える企画を実施しました。また、遊具の消毒等は入れ替え制で対応するなど、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行い安全な遊び場を提供いたしました。

中高生の居場所づくりとして、ボードゲームで遊ぶ「ボドイチ」やダーツ、ビリヤードなどで遊ぶ「B-SP0」、自由に楽器に触れる「フリスタ」などを行い、コロナ禍における中高生のニーズを探りました。

2. 令和3年度 本館・分館との連携活動

（1）連携事業の主な取組

① 年間行事

月	活動名	対象区分			内容	参加人数 (赤坂のみ)
		乳幼児	小学生	中高生		
8	低学年バスハイク		○		アスレチック等にバスで行き、楽しむ	中止
	高学年バスハイク (高学年キャンプ)		○		野外活動を楽しむ	中止
	中高生バスハイク			○	横浜ベイエリアにバスで行き、楽しむ	申込者なし
9	乳幼児バスハイク	○			東武動物公園にバスで行き、楽しむ	6組 12名
2	中高生音楽表現発表会			○	例年ティーンズライブを実施、今年度は専門家指導のもとレコーディング体験会	12名

② 日常活動

対象	活動名	内 容	参加人数 (赤坂のみ)
小学生	eスポーツ大会	インターネットを利用したテレビゲーム交流 試合	8名
小学生	卓球交歓大会	本館・分館の卓球クラブの交流試合	7名
小学生	ドッジボール交歓試合	港区ドッジボール大会に向けた、分館との練習試合	24名
中高生	館内宿泊 よるで～も	本館において中高生の宿泊交流	15名
中高生	スタジオレッスン	講師によるダンス、ボイスレッスンを実施し た後、参加者同士の交流	中止
乳幼児	たんぼぼクラブ クリスマス会	民生児童委員の方々のご協力による合同クリ スマス会	14組 30名

(2) 職員による取組

① 事業運営連携

活動名	内 容	回数	構成
ムジカディバンビーノ クラブ	本館において実施している小学生対象の音楽 クラブに分館職員が運営に参加	週1回	担当職員
バンド機材使用法講習	分館のバンド活動において使用する機材の使 用法等の研修講師として本館職員が実施	1回	スタジオ 担当職員
ノーバディーズ・パーフェク ト・プログラム(NPプログラ ム)	子育て中の親のグループワーク(親支援プロ グラム)のファシリテーターとして、本館職 員と分館職員が実施	中止	NPファシリ テーター資格 所持職員

② その他

会議名等	内 容	回数	構成
本館分館連絡会	本館・分館内の運営について等の連絡調整	月1回	管理職 指導職
職員研修会	救急対応、書類作成等における合同研修会	2回	本館・分館 職員

③ 施設・設備を利用した主な取組

- ・赤坂に陶芸窯が設備されているため、青山館の陶芸作品は赤坂の窯を利用して焼成しました。
- ・赤坂での開催を見据え、青山館主催の企画(パルクール)に赤坂の職員が見学に行きました。

3. 児童館事業

(1) 小学生対象の事業

① 定期活動

部屋	活動名	実施回数	内 容	参加人数
アリーナ	月間企画	40 回	集団遊びやスポーツ企画(アリーナに集合、王様バドミントンなど) なんで～も委員会発案による企画	648 名
メディアルーム	ローマ字検定	通年	ローマ字入力を習得し、検定を受ける	23 名
	月間企画	13 回	PC を使用しての制作企画 なんで～も委員会発案による企画	52 名
クラフトルーム	月間企画	13 回	テーマ・材料を決めての工作	194 名
	期間工作	13 回	おすすめ工作の作り方の掲示や材料の提供 (月1～2回)	約 400 名

② 特別活動

部屋	活動名	実施回数	内 容	参加人数
アリーナ	ドッジボール	4～9 月	港区児童館ドッジボール選手権大会に向け チームを作り練習を行う。	延べ 295 名
	アリーナシアター	年 2 回	子どものリクエストにより、映画等を上映	74 名
	一輪車講習会	年 2 回	講師による一輪車指導	22 名
メディアルーム	行事に向けた企画	7 回	PlaZania や文化祭に向けての商品作り	28 名
	インターネット 講習会	1 回	講師によるネットリテラシー指導	21 名
	小学生ゲーム DAY	17 回	大画面を使ったテレビゲーム対戦	175 名

クラフトルーム	陶芸教室	6回	講師による陶芸指導	49名
	高学年企画	2回	高学年向けの材料、道具を使ったアクセサリ作り、工作等	21名
	ワークショップ	3回	テーマ・材料を決めての工作等	86名
	行事に向けた企画	14回	PlaZania や文化祭に向けての商品作り	162名
	おやつ研Q会	中止	高学年を対象におやつについて学び試食を行う	—
スタジオ	あそスタ	2回	スタジオに関連した遊び	12名
	伝統文化	年1回	講師による伝統文化の体験	8名
	ことさん	年1回	講師による箏・三味線の体験指導、館内発表会への出演(延べ5回実施)	85名
	音楽活動	年3回	音楽活動(ハンドベルなど)、館内発表会の実施、カラオケ等の遊びの提供	15名
ラウンジ	ビリヤード大会	1回	高学年を対象としたビリヤード大会	8名
	ボードゲーム大会	1回	小学生を対象としたボードゲーム大会	3名

(2) 中高生対象の事業(中高生居場所づくり事業)

① 定期活動

活動名	実施回数	内容	参加人数
ボドイチ	22回	ボードゲームを通じての交流 (NAN-CAFÉの代替として実施)	50名
B-SPO	11回	ダーツやビリヤードを通じての交流 (プチペコ食堂の代替として実施)	40名
まなび舎 in なんでも	通年	中高生占有コーナーでの自主学習、交流の場	497名

ゲーム大会	9回	テレビゲーム等を通じての交流 (NAN-COOKの代替として実施)	39名
NAN-SPO	12回	スポーツを通じての交流	79名

② 特別活動

部屋	活動名	実施回数	内容	参加人数
メディアルーム	メディアシアター	6回	映画等の上映会、パソコンを使った製作活動	31名
クラフトルーム	月間企画	中止	テーマ・材料を決めて行う工作など	—
スタジオ	予約会議	10回	スタジオ利用に関する次月の予約、連絡調整、バンド交流	10人
	バンド総会	中止	バンド同士の交流、より良く利用するための会議	—
	セッション会	中止	演奏方法等の音楽知識を共有と交流	—
	スタジオレッスン	中止	講師によるボイスレッスン・ダンスレッスン等の中高生の音楽活動の支援	—
	プラカラ	6回	カラオケを通じての交流	30名
	レコーディング企画	3回	専門家指導のもとレコーディング体験会 (ティーンズライブの代替として実施)	12名
ラウンジ・学び舎	館内宿泊 よるで～も	1回	長期休業期間中の宿泊を伴った自主学习支援企画	15名
	まなびちゃん	5回	大学生ボランティア等による学習、スポーツ交流、進路相談会	18名

	フリスタ	7回	楽器を弾いたことがない、もしくは初心者の中高生を主対象とした楽器演奏体験	4人
	なんで～も委員会	11回	プラザ（館）の運営に関する話し合い、活動内容の検討	45人

(3) 全年齢対象の事業
特別活動

部屋	活動名	実施回数	内容	参加人数
メディアルーム	メディアシアター	15回	映画等の上映会	246名
	ペーパークラフト	通年	制作活動、絵画コンテスト 季節に関する活動	約150名
クラフトルーム	調理活動クラ COOK	中止	ランチ作り・おやつ作りなど ※乳幼児を除く。	—
	ワークショップ	通年	テーマ・材料を決めての工作等	約500名
アリーナ	ボルダリングタイム	中止	ボルダリングを安全に楽しむ	—
ラウンジ	月間企画	通年	歌、紙芝居、読み聞かせ等 ボードゲーム大会、クリスマス会等の季節のお楽しみ会	約140名

4. 子育て広場事業

(1) 「乳幼児と保護者」対象の事業

① 定期活動

活動名	実施回数	内 容	対象	参加人数
りすさんグループ はいはい・よちよち クラス	39回	手遊び、音楽遊び、読み聞かせ、ふれあい遊びなど	0歳児とその保護者	567名
りすさんグループ ねんねクラス	34回			471名
こぐまさんグループ	34回	手遊び、音楽遊び、工作、読み聞かせ、運動遊びなど 登録制で10名定員。	2歳児以上とその保護者	306名
うさぎさんグループ	39回	手遊び、音楽遊び、読み聞かせ、ふれあい遊び、運動遊びなど	1歳児とその保護者	320名
なんで～もであそぼ 1,2,3	18回	楽器遊び、歌遊び、リトミックなど音楽を主体とした活動	乳幼児とその保護者	177名
わいわいクラブ	33回	アスレチック、リズム体操、かけっこ、集団遊び、ふれあい遊びなど	幼児とその保護者	342名
アトリエなんで～も	11回	講師を招いた造形・絵画活動	幼稚園児とその保護者	131名
FC NANDEMO	31回	サッカーを中心とした運動遊び	幼稚園児とその保護者	273名
壁面アート	2回	キッズルームの壁面を飾ることを目的とした大型制作	幼稚園児とその保護者	16名
プラタイム	10回	電池を入れたおもちゃ（プラレール等）で遊ぶ活動	乳幼児とその保護者	121名
プチプラタイム	16回	電池を入れたおもちゃ（0～3歳向け）で遊ぶ活動	乳幼児とその保護者	72名
たんぽぽクラブ	14回	民生・児童委員による子育て支援活動（工作・手遊びタイム等も行う） 奇数月第4火曜日は、保健師、栄養士による育児相談会も行う）	乳幼児とその保護者	83名
お昼の体操	199回	乳幼児向けのダンスを中心とした活動	乳幼児とその保護者	1028名
水遊び キラキラ☆プール	7回	「ふれあい広場」での水遊び	乳幼児とその保護者	45名
おはなしの部屋	10回	館内の絵本の読み聞かせ会	乳幼児とその保護者	16名

② 特別活動

活動名	実施回数	内 容	対象	参加人数
みなと保健所との連携事業	1回	環境衛生士の講話	乳幼児・保護者	18名
講師による企画	3回	骨盤リセットヨガ、リトミック、ベビーマッサージ、英語で遊ぼう、親子ヨガ等	乳幼児・保護者	63名
赤坂図書館との連携事業	中止	各グループ活動内にて「おはなし会」	乳幼児・保護者	—
てあそびタイム	5回	乳幼児で行うグループ活動を体験する活動	乳幼児・保護者	48名

(2) 保護者対象の事業

① 定期活動

活動名	実施回数	内 容	対象	参加人数
な～んでも「お聞きします」	中止	日本ガーディアン・エンジェルズから派遣されたボランティア相談員「スマイルさん」(心理士等)による相談活動	乳幼児の保護者	—
子育て支援保護者対象企画	6回	製作活動、ヨガ、育児相談等	乳幼児の保護者	37名
キッズリサイクル	中止	不要になった育児用品の寄付を募り、無償で提供する。	乳幼児の保護者及び妊婦	—

② 特別活動

活動名	実施回数	内 容	対象	参加人数
子育て講話	中止	講演会、グループ討論会	乳幼児の保護者	—
ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム	中止	子育て中の親のグループワーク(親支援プログラム)	乳幼児の母親	—
消防署との連携事業	1回	乳児の救命救急講習会	乳児の保護者	12名

(3) 父親対象事業・祖父母対象事業

特別活動

活動名	実施回数	内 容	対象	参加人数
親子陶芸	1回	講師による陶芸指導	乳幼児の父親・祖父母	14名
マタニティヨガ	1回	プレママ、プレパパ応援企画	妊婦及びそのパートナー	14名

(4) 乳児対象事業

定期活動

活動名	実施回数	内 容	対象	参加人数
集まれ赤ちゃん！ 乳児対象企画	4回	はいはいレース	乳児とその保護者	29名

5. 年間行事

(1) 行事計画に基づく行事

月	乳幼児	小学生	中高生	内 容	参加人数
4		ウェルカム なんで～も		新一年生に対して、祝福・歓迎する行事、クラブ活動の紹介	48名
5	こどもの日行事			子どもの成長と健康を願うための行事	中止
	ワンダーフォーゲル			児童が野外遠足を楽しむ外出行事	中止
6	スポ キッズ			乳幼児の年齢別グループ活動の交流行事を行う	56名
		高学年 キャンプ		自然環境の中で、宿泊を通じて、体験と交流を深める行事	中止
	親子交流行事			親子で親しみ、保護者同士の交流を図る行事	4組
7	納涼祭（高齢者施設と共催）			高齢者施設と共催し、地域の方々と楽しむ夏祭	中止
8		低学年 バスハイク		バスを使用して外出を楽しむ行事	中止

		プラネタリウム	館内で移動式プラネタリウムを楽しむ行事	79名
9		赤坂秋まつり	地域商店街行事において活動の発表を行う	中止
		Kidszoo	移動動物園を招き、動物と触れ合う	92名
10		あきる野市里山体験	あきる野市の自然に触れ環境学習を行う行事	27名
		乳幼児バスハイク	乳幼児とその保護者を対象に、バスを使用して外出を楽しむ行事	12名
		ドッジボール大会	港区の児童館が集まって、ドッジボール大会を行う	18名
		みなと区民まつり	オンライン区民まつりに参加	36名
11		文化祭典	文化・芸術活動の展示と発表を楽しむ行事※オンライン配信で実施	437名 視聴回数
		赤坂・青山共育フェスティバル	赤坂・青山地区協働行事に参加し、工作ブースの出店、活動の発表を行う	中止
12		たんぼぼクラブクリスマス会	民生・児童委員「たんぼぼクラブ」との共催で乳幼児対象のクリスマス会を楽しむ行事	30名
		児童館交流会	港区の児童館が集まって、活動の成果を発表する行事	43名
1		ティーンズライブ	中高生による音楽表現活動（バンド・ダンス）の発表を行う行事	中止
2		節分・もちつき大会（高齢者施設と共催）	高齢者施設と共催で、季節の伝統行事及びもちつきを楽しむ行事	中止
		中高生交流行事	文化やスポーツに親しみ、中高生の交流を深める行事	8名
3		キッズランド	乳幼児の年齢別グループ活動の交流行事を行う	65名
		PlaZania	子どもたちのお店屋さんを通じて交流を深める行事	176名

(2) 連携行事

月	乳幼児	小学生	中高生	連携機関	参加人数
4 9		交通安全教室		赤坂警察署 (スクールサポーター)	56名
9		赤坂 秋まつり		赤坂通り商店会等	中止
10		港区児童館ドッジ ボール選手権大会		港区内の児童館・プラザ	20名
11 3		火災予防講話		赤坂消防署新町出張所	22名
11	赤坂・青山共育フェスティバル (<small>ともいく</small> 檜町公園)			赤坂・青山共育情報局 赤坂地区総合支所協働推進課	中止
		プラザカップ フットサル		港区内おプラザ	9名
12		港区児童館交流会		港区内の児童館・プラザ	22名
1			プラザカップ フットサル	赤坂、港南、高輪、神明、麻布、芝浦の6プラザ	6名
2			Minato Music Mates	赤坂、青山、港南、高輪、神明、麻布、の6プラザ	1名
3			中高生バスケ 交流大会	赤坂、港南、高輪、神明、麻布、芝浦の6プラザ	0名
		卓球交歓大会		本館・分館交流卓球大会	7名

6. クラブ・サークル活動

児童の興味、関心をもとに、学校・年齢を超えたグループによる継続的な活動を目的としました。

- 子どもたちによる主体的な活動や運営、興味・関心の深まり、仲間意識の芽生えと深化、専門技術の向上などの支援。
- 随時、活動報告などの情報公開及び新規メンバーへの呼びかけを行い、子どもたちの輪を広める。
- 活動の成果を発表する場を設け、幅広い自主活動の支援。
- 既存のクラブ以外に、グループによる継続的な活動のニーズが出た場合、サークル活動として活動の支援を検討し、実施に向けたサポート。

令和3年度クラブ活動

クラブ名	実施回数	講師指導	内容	対象	参加人数
フットサル	19回	○	フットサルを楽しむ	小学生	262名
バスケットボール	29回	○	バスケットボールを楽しむ	小学生～中高生	251名
卓球	30回	×	卓球を楽しむ	小学生～保護者	245名
レッツ!バトン!!	28回	○	バトントワリング・チアダンスを楽しむ	小学生	910名
ダンスクラブ	30回	○	ダンスを楽しむ	小学生	714名

7. 相談事業

プラザでは、相談事業にも力を入れ取り組み、子育ての相談、地域活動の相談など気軽にお話しただけのような環境を作り、職員が対応するだけでなく保健師による相談会なども定期的に行いました。

子育ての相談に関しては、乳幼児保護者からの育児の悩みや夫婦間の悩み、コロナ禍でのストレス緩和方法など、小学生保護者からは子どもをとりまく環境についての相談などが寄せられました。

子どもからの友達関係の相談などは、落ち着いて話ができるようスペースを用意するなど配慮をし、必要に応じて専門機関を紹介しました。

また、地域で何か力になりたいと考えている方からの相談を受け、ボランティアとしての受け入れなどプラザとしてできることを一緒に考えました。

今後も、多様な相談に対応できるよう、職員の資質の向上に努めてまいります。

8. 子ども・保護者委員会

子どもの視点、利用者の立場に立って運営に取り組むため、子どもが気軽に参加し発言できる懇談会として「なんで～も委員会」を対象年齢に分けて開催しました。

活動名	実施回数	内容	参加人数
保護者対象 なんで～も委員会	1回	館に対する意見や要望などを自由に話し合った	4名
小学生 なんで～も委員会	4回	小学生が、館への要望や実施したい企画などを考え、話し合った	28名
なんで～も委員会	11回	館内の企画内容に関する話し合い、制作活動をした	52名

9. 国際交流活動

港区内に大使館や外国企業が多く存在するという環境にあることから、児童が広く海外に目を向け、理解を深め、さまざまな国の人たちとの交流ができるようにすることを目的としました。令和3年度のテーマの国はドイツといたしました。

活動名	実施回数	内 容	参加人数
納涼祭商品づくり	1回	ドイツの文化について学び、納涼祭の商品をつくる(プレツェルキーホルダー)	26名
PlaZania 商品づくり	1回	ドイツの文化について学び、PlaZaniaの商品をつくる(木製のしおり)	34名

10. 高齢者施設等との交流

高齢者施設が併設されているという特長を活かし、世代間交流ができるよう支援して、高齢者を身近な存在と感じ、敬意や思いやりの気持ちを育みました。活動の多くは、サンサン赤坂職員と連携した児童高齢交流委員会が中心となって実施いたしました。

① 定期活動

月	活動名	内 容	対象	参加人数
5	サン・サン赤坂 ツアー	「サン・サン赤坂」利用者との 交流及び高齢施設での活動についての 紹介	乳幼児～保護者 高齢者	中止
6	しゃぼん玉 あそび	ふれあい広場にてシャボン玉遊び	乳幼児～保護者 高齢者	32名
7	七夕	オンラインにて七夕にちなんだ遊び	乳幼児～保護者 高齢者	23名
8	スイカわり	スイカ割り体験	乳幼児～保護者 高齢者	中止
	盆踊り交流	盆踊り体験	乳幼児～小学生	中止
	プラネタリウム 交流	アリーナにてプラネタリウム上映	乳幼児～保護者 高齢者・地域住 民	中止
	打ち水交流	ふれあい広場にて打ち水	乳幼児～保護者 高齢者	16名

9	敬老会	メッセージDVDを作成しプレゼント	小学生	4名
10	ハロウィン交流	オンラインにてハロウィンにちなんだ遊び	小学生	8名
11	文化祭交流	デイサービスと作品の交換を行い、館内で掲示	乳幼児～保護者 高齢者・地域住民	多数
	おやつ作り交流	おやつ作りを行い試食	乳幼児～保護者 高齢者	中止
	おいもほり	おまつり広場にて、さつまいもの収穫	乳幼児～保護者 高齢者	8名
12	冬の音楽会	オンラインにてバンビーノクラブ・りんどんずによる演奏発表	小学生	79名
1	新年ごあいさつツアー	年賀状のやりとりにて交流	小学生	4名
2	SDGsかるた	オンラインにて、SDGsかるたとり	小学生	16名
3	春の音楽会	オンラインにて、バンビーノクラブによる演奏発表	乳幼児～保護者 高齢者	37名

② 特別活動

活動名	内容	対象	参加人数
介護士体験	高齢者への介助の体験	小学生～中高生	中止

11. 地域の歴史や文化にふれる活動

地域と積極的に交流し、児童が地域を愛し誇りを持てるよう、また地域に開かれた施設づくりを目標として活動を行いました。

活動名	内容	対象	参加人数
地域懇談会	地域の代表による情報交換や懇談、施設運営について報告など（書面開催）	地域の方々	54名に配布

咸臨丸探検隊	春 赤坂像巡り	小学生	10名
	夏 赤坂地区防災マップづくり	小学生	7名
	秋 赤坂消防署見学	小学生	10名
	冬 スター銀行訪問	小学生	中止
	早春 キッズ咸臨丸 氷川公園	乳幼児・保護者	8名

12. ボランティア活動

地域に根ざした児童館を目指すため、ボランティア担当を配置して、児童のボランティア精神を育み、積極的にボランティア活動を行いました。

ボランティアで協力していただける地域の方を積極的に受け入れました。

また、利用者にボランティア活動に関する情報を提供し、活動を支援しました。

活動名	内容	参加人数
チャレンジ戦隊！ ボラレンジャー	港区ボランティアセンター「かんがり」事業（暑中見舞い、年賀はがき等）への協力や、地域の清掃などのボランティア活動。地域のボランティア団体の協力による工作活動。	27人

13. 食育活動

児童自らが自分の健康を守り、健全で豊かな食生活を送れるよう指導、支援しました。令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、食事に合う器の選び方をテーマに用途に応じた皿の作成を行いました。

活動	内容	参加人数
食育陶芸	食事に合う器の作成	17名

14. その他の活動

(1) 利用者のアンケート及び意見広聴

ラウンジに意見箱を常設し、広く利用者からの自由な意見を募りました。また、懇談会やなんで～も委員会など利用者の参画の機会を利用し、広く意見広聴を行いました。児童からは、「遊び」について様々なリクエストが寄せられ、館内掲示をするとともに実施の方向に向けて取り組みました。保護者からは、活動内容や遊具の設置についてご意見をいただき活動内容に生かしています。

さらに活動・企画によっては、終了後や年度末に参加者アンケートをとり、今後の事業運営に取り入れるようにいたしました。

(2) 苦情対応

令和3年度は、児童が退館する時に、受付職員の声かけがなかったという職員の接遇についての苦情を頂きました。入館、退館時の挨拶は基本であり、館内のセキュリティ対策、安全管理意識の欠如につながることで、声掛けがなく残念に思った利用者の方の気持ちを鑑みて、改めて接遇マナーの職員研修を行いました。また、受付のガラス戸に告知ポスターなどを貼っていることも、人の出入りが気づけないことにつながるため、受付回りの整理整頓を行い、見通しがよくなるようレイアウトを変更いたしました。

今後も苦情があった場合には、真摯に受け止め、赤坂地区総合支所管理課報告、相談するなど改善すべきことは、早急に改善策を講じてまいります。

(3) 広報活動

① 「なんで～もステーション」

毎月発行している情報誌で、その月の行事や企画を掲載しています。館内配布のほか、学校、保育園、幼稚園、地域の町会長・自治会長や民生・児童委員の方等へお届けも行っています。(約33,000部、館内配布は約200部) また、分館である「青山館」のおしらせ「カリッパ」も、受付窓口にて配布しています。

② 「ホームページ」

独自のホームページにより、随時、広報活動を行いました。ホームページには、施設の概要や「なんで～もステーション」、台風時の対応等の最新情報・緊急連絡事項等を掲載いたしました。

③ 法人広報誌『元気です』

社会福祉法人東京聖労院の広報誌。年3回の発行で、赤坂子ども中高生プラザ等で行われた行事の報告、行事の予定を掲載しています。

(4) おもちゃの病院

港区の事業として、年12回(1か月に1回)、専門のドクターが来館し、各家庭よりお預かりしたおもちゃを修理していただいています。令和3年度は3回(12月、1月、3月)の開催となりました。

(5) 学校等との連携

地域の公立小中学校、保育園、放課G0→クラブあかさかとは、日常的に情報交換を行い、連携を図りました。

また、赤坂小PTA自然体験部が実施する野外活動の支援要員として、職員2名を派遣しました。

このほか、「サン・サンなんで～も地域懇談会」を书面開催し、地域の町会・自治会長、行政機関、青少年健全育成団体の関係者のほか、幼稚園、小・中学校、保育園等の教育機関等の皆様と情報共有を行いました。

IV 学童クラブ（放課後児童健全育成事業）

1. 学童クラブ事業

（1）運営方針

放課後、保護を必要とする児童にとって心のよりどころとなり、安心して過ごせる生活の場となるとともに、友達との交流やさまざまな遊びを通して児童の可能性を広げ、成長発達に向けて一人ひとりへの細やかな配慮と働きかけを行いつつ、運営を行いました。

（2）子どもとの関わり

子どもたちがのびのびと生活し、安心して過ごせる場となるよう、職員との信頼関係の構築や環境整備を行いました。また、子ども同士も、お互いが楽しく気持ちよく過ごせるよう、相手を思いやる気持ちを育てるなど、集団生活に必要な成長を促していくよう配慮した運営を行いました。

活動	実施回数	内容	参加人数
グループ活動	多数	氷川公園や氷川神社公園にて外遊び	多数
誕生会	12回	誕生月の児童に関するクイズやリクエストおやつ の提供	多数
新入生歓迎会	1回	友だち作りのきっかけとなる集団ゲームの実施	20名
外出行事	多数	バス外出など遠方への外出は控え、近くの公園や ふれあい広場で代替行事を行った。	多数
ランチパーティー	多数	市販のお弁当を購入し、学童クラブ室でランチを 楽しんだ。	多数
年末お楽しみ会	1回	ビンゴ等のレクリエーション	61名
お祝いパーティー	1回	卒業や進級を祝う会にて、マジシャンをゲストと して招いた。	68名

（3）家庭との連絡と相談活動

児童の様子を共有するため、連絡帳や個人面談を通してそれぞれの児童の様子を伝え合い、保護者との信頼、協力関係を築きました。

また、保護者会や親子行事を開催し、同じ環境で子育てをしている保護者同士が交流する場を設け、仲間作りのきっかけとしました。

活動	実施回数	内容	参加人数
個人面談	1回	保護者との面談による要望、児童の状況の把握	50名
保護者会	2回	保護者との意見交換・交流	111名

入会説明会	3回	新年度学童クラブ入会対象者の説明会	多数
-------	----	-------------------	----

【学童クラブ在籍児童・保護者が参加する活動】

活動	実施回数	内容	参加人数
親子ふれあいイベント	1回	親子一緒に作って遊べる工作を楽しみ、他の家族と交流する機会を設けました。	81名

(4) 学校等との連携

お便りの交換や、様々な話し合いの場を通して、学校や「放課GO→クラブあかさか」との協力関係を築きました。特に赤坂小学校とは連絡を密にし、問題が生じた際は速やかに解決を図っていただけるように努めました。

2. 日常活動報告

来室から帰宅まで、学童クラブ室を拠点に、赤坂中高生プラザ内の各部屋で自由に過ごすほか、様々な企画に参加できるよう職員が見守りました。また、おやつタイムや帰りの会などを設けて、学童クラブで過ごす際の必要な「きまり」や生活リズムが身につくように支援し、高学年に対しては、低学年で培った学童クラブでの生活ルールやおやつなどの時間を自分で判断・行動できるよう声掛けを行いました

(1) 日課表

13:30~	来室 勉強タイム あそび
15:00	おやつ開始
16:30	おやつ終了
17:00	帰宅開始 (「送り」2回)
19:00	退室

8:00~	来室 勉強タイム あそび
12:00	昼食の準備、 お弁当 片付け・休憩
13:00	あそび
15:00	おやつ開始
16:30	おやつ終了
17:00	帰宅開始 (「送り」2回)
19:00	退室

(2) おやつ提供

テーブルを仕切る衝立を導入し、手洗いや消毒などの感染防止措置を徹底して行いました。毎日午後3時から4時30分の間におやつを提供、子どもたちが適切なエネルギー補給ができるよう工夫しました。

アレルギーのある子どもに対しては、保護者に状況を確認した上で、別のメニューを用意するなど、個別の対応いたしました。

月1回のお誕生会の日には、誕生月の児童のリクエストを聞き、ケーキを用意するなど子どもたちに喜ばれるよう工夫しました。

(3) 安全の確保

出欠や入退室の把握を徹底するとともに、子どもたちに対しても、安全確保の意識が高まるよう、日常的に指導しました。

また、学童クラブに在籍する児童の居住地域が広範囲に及ぶため、児童の帰宅時の安全を図れるよう、年間を通じて、5時と5時45分の2回、職員が付添い赤坂小学校までの「送り」を実施、港区学童クラブ見守りシステム事業の実施要項等にしながら、適切に運用しました。

V 令和3年度の事業を振り返って

1. プラザの運営

- 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策を検討しながら、子どもとその保護者が安全安心に楽しめるよう活動を工夫しました。各部屋に定員を設け、密を避けた活動内容、オンラインでの活動など新たな生活様式にあわせた活動を行いました。
- 各部屋の活動は、多彩なプログラムを実施するのはもちろんですが、人気のあるものは申し込み初日で満員となってしまいうこともあったので、同月で複数回実施するなど大勢の子どもが参加できるよう機会を増やしました。
- 併設のサンサン赤坂との交流、分館である赤坂子ども中高生プラザ青山館との交流は ZOOM での交流やeスポーツ（インターネットゲーム等）なども行い、好評でした。

2. 学童クラブの運営

- 子どもたちの生活の場として、できる限り日常に近い運営を心がけました。
- 学童クラブとしてのイベントはプラザと同様、新型コロナウイルス感染症対策を行い、工夫をしながら行いました。
- 年度後半には、高齢者施設の厨房で調理を行う手作りおやつを再開し、誕生会では集団遊びや運動を再開しました。
- バスや電車を利用した外出行事ができなかったため、マジックショーを呼ぶ等子どもたちの印象に残るような行事を行いました。
- 児童の新型コロナウイルス感染症に関する報告、連絡は赤坂支所に迅速に行い、開室、閉室等の状況はすぐメールによる周知を行いました。

3. 職員体制の連携

- 分館である赤坂子ども中高生プラザ青山館と定期的な情報交換、意見交換を行い、連携行事を行いました。ただ、館内を利用する際の詳細なルールにずれが生じることがあり、両館を利用されている方に混乱を招いてしまいました。今後はさらに密な情報交換とずれの修正をしていく所存です。
- 職員間での交流、応援体制を整え、本館分館での新型コロナ感染症等における運営体制のバックアップを行いました。

4. 館内外で発生した事故

事故等の発生の際は、職員による適切な初期対応を行いました。また、活動による事故やケガ等が発生しないよう、施設設備の安全面の点検を定期的に行い、不具合箇所の修繕等を実施しました。今後も、より一層の安全・安心に過ごせる施設であるよう運営を行っていきます。

【通院を伴う事故 3件（赤坂支所報告）】

- ① 令和3年7月8日 一般利用児童5年男児
体育館でサッカー中、相手の蹴ったボールが右目に当たり眼底出血。保険適用を希望。
→上記の事故を受け、職員の部屋の見守りに際し、児童の遊び方の中には、危険を伴うような行動があることを予見し、事前に指導をすること、また、児童にその場では平気でも違和感があれば職員にすぐ伝えるよう指導をすることとしました。
- ② 令和3年10月18日 一般利用乳児1歳女児
ベビーカーのジョイント部に右手小指を挟む。保険適用希望なし。
→上記の事故を受け、保護者への注意喚起、職員への事故発生時の対応の周知を行いました。
- ③ 令和3年12月27日 学童クラブ児童2年女児
体育館で野球中、他の児童が振ったバットがあたり、鼻血および口腔の出血。保険適用希望なし。
→上記の事故を受け、職員の部屋の見守りに際し、道具を使った遊びの際は子ども同士がじゅうぶん距離をとるよう指導すること、児童にも注意喚起をすることとしました。